

令和2年大船渡市新年交賀会

市民一丸となって復興を

1月6日、市内ホテルで、令和2年大船渡市新年交賀会を開催し、市内の事業所や団体など、約220人が出席しました。

戸田市長は、年頭あいさつで「令和2年度は市復興計画の最終年度であり、復興の加速に努めたい」と述べ、各団体などへ協力を求めました。

また、鏡開きや万歳三唱などを行い、今年1年の地域振興と発展などを祈願しました。



吉浜のスネカ

地域ぐるみで後世へ継承

1月15日、三陸町吉浜地区の伝統行事「吉浜のスネカ」が行われ、地区内約300件の家々をスネカが訪ね歩きました。

スネカの名前は、「スネカワタグリ」に由来します。これは、冬の間に仕事を怠けて囲炉裏にあたってばかりいると、すねの皮にヒガタ(火だこ)ができ、そのような怠け者のすねの皮をたくり(剥ぎ取り)に来るためといわれています。

スネカの起源は、おおよそ200年前までさかのぼると考えられています。戦争などで中断された時代もありますが、昭和40年代から青年会が中心となって取り組みをはじめ、平成7年には「吉浜スネカ保存会」が発足し、現在は地域の中学生・高校生も加わり伝承に取り組んでいます。

また、平成30年11月29日に、「吉浜のスネカ」を含む国内10地域の来訪神行事が、ユネスコ無形文化遺産「来訪神:仮面・仮装の神々」として登録され、県内では2件目の登録となりました。

第29回ふるさと・おおふなとお話大賞表彰式

29年間にわたる歴史に幕



1月18日、カメラホールで、第29回ふるさと・おおふなとお話大賞表彰式を行いました。

今回で最終回となる同大賞には、市内外や県外から、ふるさとへの思いがあふれる22作品の応募があり、4人が受賞しました。

表彰式では、大賞を受賞した越喜来中学校1年の田中愛子さんが、受賞作品「八月の葉桜」を朗読し、会場は大きな拍手に包まれました。



トピックス 1

令和2年大船渡市消防出初式

1月5日、盛町の商店街とリアスホールで、令和2年消防出初式を行いました。

商店街では、まとい組による躍動感あふれるまとい振りや、ラッパ隊の演奏に合わせた堂々とした分列行進が披露され、観覧した市民から温かい拍手が送られました。

式典では、統監の戸田市長による年頭あいさつのほか、無火災分団などの表彰、ラッパ隊によるドリル吹奏が行われました。式典の最後には、まとい組によるまとい振りと三本締めが行われ、今年1年の地域安全や無火災などを祈願しました。



①まとい振りを行い無火災・無災害を祈願しました
②大船渡消防署、消防団および婦人防火クラブによる分列行進



①今年1年の交通事故防止や犯罪抑止への決意表明を行いました
②両隊約50人が参加し士気を高めました

トピックス 2

令和2年市交通指導隊・防犯協会連合会防犯隊合同出初式

1月7日、カメラホールで、令和2年大船渡市交通指導隊・大船渡市防犯協会連合会防犯隊合同出初式を行いました。

式では、戸田市長が、「安全で安心できるまちづくりを進めるため、関係機関や団体との連携をもとに、地域の実情を踏まえた地道な活動を継続してほしい」と訓示を述べました。

工藤交通指導隊長、金野防犯協会連合会防犯隊長による決意表明では、一丸となって任務を遂行していくことを誓い、交通事故・犯罪の抑止に向けて決意を新たにしました。

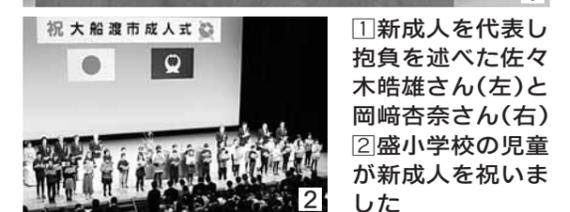
トピックス 3

令和2年大船渡市成人式

1月12日、リアスホールで、令和2年大船渡市成人式を行いました。

初めて午後に開催された本年の成人式には、色とりどりの振り袖や、スーツ姿などの新成人321人が出席し、旧友たちとの再会を喜び合いました。

式典では、盛小学校の児童による市民歌斉唱のほか、戸田市長からお祝いのメッセージが送られました。また、新成人を代表し、佐々木成人式実行委員長と岡崎実行委員が、「これからの大船渡を築き、恩返しをしていきたい。社会のために手を差し伸べていきたい」と感謝を込めて抱負を述べました。



①新成人を代表し抱負を述べた佐々木皓雄さん(左)と岡崎杏奈さん(右)
②盛小学校の児童が新成人を祝いました